



平成 22 年 2 月 23 日

各 位

会社名 株式会社三越伊勢丹ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長執行役員  
石塚 邦雄  
(コード番号 3099 東証、福証)  
問合せ先 管理本部総務部コーポレートコミュニケーショングループ 長  
鈴木 康弘  
TEL03-5843-5115

### 三越伊勢丹グループの百貨店事業に係る 組織再編（吸収分割）のお知らせ

弊社の連結子会社である株式会社三越（以下、「三越」）は、本日開催の取締役会において、平成 22 年 4 月 1 日を効力発生日（予定）として、下記のとおりグループ百貨店事業の組織再編を実施することを決定いたしましたので、お知らせいたします。具体的には、三越の札幌・仙台・名古屋・広島・高松・松山・福岡・新潟の各地域における百貨店運営事業に係る権利義務を、新たに設立した地域事業会社、および新潟については株式会社新潟伊勢丹（以下「新潟伊勢丹」）に承継させる吸収分割（以下「本吸収分割」）を行うことを決定いたしました。

なお、本吸収分割は、いずれも弊社の 100%子会社である三越と各地域事業会社との間で行う簡易吸収分割であることから、本吸収分割に係る開示については、開示事項・内容を一部省略して記載しています。

#### 記

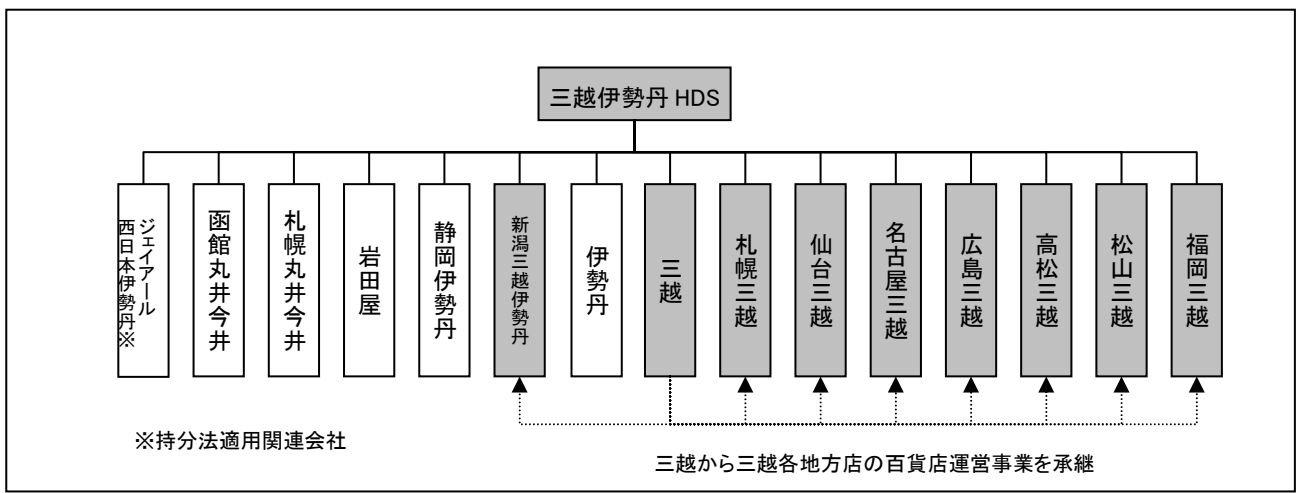
##### 1. 本吸収分割の目的

弊社は、平成 23 年春までにグループの最適化を完了し、お客さまのご要望によりお応えできる体制を構築してまいります。その一環である、百貨店事業に係る組織再構築の具体策として、本年 4 月 1 日（予定）をもって、三越の札幌・仙台・名古屋・広島・高松・松山・福岡・新潟の各店における百貨店運営事業を、平成 21 年 10 月 1 日に設立した弊社の 100%子会社である株式会社札幌三越、株式会社仙台三越、株式会社名古屋三越、株式会社広島三越、株式会社高松三越、株式会社松山三越、株式会社福岡三越、および新潟伊勢丹（以下 8 社あわせて「各地域事業会社」）に承継させることといたしました。

本吸収分割によって、各地域事業会社に各店舗の運営権限を移譲することで、お客さまの要望を迅速な意思決定によって実現することが可能となり、これまで以上に地域に密着した営業体制を構築し、各地域に最適な営業施策の迅速かつ細やかな展開を推進してまいります。そして、これらにより生み出した利益をお客さまや地域に還元し、より魅力的な店づくりのために活用することにより、“地域のお客さまに愛される、地域のお客さまにとっての「マイデパートメントストア」”となることを目指します。

また、併存する店舗の一体運営化のモデルエリアと位置づけた新潟エリアにおいては、三越新潟店の百貨店運営事業を新潟伊勢丹が承継することとし、これに伴って新潟伊勢丹は、平成 22 年 4 月 1 日（予定）より「株式会社新潟三越伊勢丹」に商号を変更いたします。三越・伊勢丹両店舗の一体運営化により、三越、伊勢丹それぞれのブランドを生かした、競合に負けない魅力的な商業施設づくりを行ってまいります。また、後方部門の統合による物流費・賃借料の削減、共同取組による経費の有効活用など、単独の店舗ではなし得なかった店舗運営コストの大幅削減を実現いたします。

本吸収分割後の弊社グループ国内百貨店の全体像は、以下の通りです。



## 2. 本吸収分割の要旨

### (1)吸収分割の日程

吸収分割決議取締役会（三越）	平成 22 年 2 月 23 日（火）
吸収分割決議取締役会（各地域事業会社）	平成 22 年 2 月 23 日（火）
※新潟伊勢丹のみ平成 22 年 2 月 22 日（月）	
吸収分割契約の締結（三越及び各地域事業会社）	平成 22 年 3 月 2 日（火）（予定）
吸収分割の予定日（効力発生日）	平成 22 年 4 月 1 日（木）（予定）

(注) 本吸収分割は、会社法第 796 条第 3 項の規定に基づき、各地域事業会社については簡易吸収分割の手続きにより株主総会による承認を経ずに実施いたします。

また、本吸収分割は、会社法第 784 条第 3 項の規定に基づき、三越については簡易吸収分割の手続きにより株主総会による承認を経ずに実施いたします。

### (2)分割方式

三越を分割会社とし、各地域事業会社を承継会社とする吸収分割です。

### (3)吸収分割に係る割当ての内容

本吸収分割において、分割会社である三越に対する割当ては行われません。

### (4)分割会社の株予約権及び株予約権付社債に関する取扱い

三越は、株予約権及び株予約権付社債を発行しておりません。

(5)承継により増加する資本金等

該当事項はありません。

(6)承継会社が承継する権利義務

各地域事業会社は、効力発生日において三越が有する本件事業に関する資産、負債、契約上の地位その他の権利義務のうち、吸収分割契約書で定めるものを承継します。

(7)債務履行の見込み

本吸収分割の効力発生日後における三越及び各地域事業会社の債務履行の見込みについては、問題ないものと判断しております。

3. 吸収分割当事会社の概要

(分割会社) (平成 21 年 3 月 31 日現在)

(1) 名 称	株式会社三越
(2) 事 業 内 容	百貨店業
(3) 設 立 年 月 日	平成 15 年 9 月 1 日
(4) 所 在 地	東京都中央区日本橋室町一丁目 4 番 1 号
(5) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長執行役員 石塚 邦雄
(6) 資 本 金	37,404 百万円
(7) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%

(分割承継会社) (平成 22 年 4 月 1 日現在)

(1) 名 称	株式会社札幌三越	株式会社仙台三越
(2) 事 業 内 容	百貨店業	百貨店業
(3) 設 立 年 月 日	平成 21 年 10 月 1 日	平成 21 年 10 月 1 日
(4) 所 在 地	北海道札幌市中央区南 1 条西三丁目 8 番地	宮城県仙台市青葉区一番町四丁目 8 番 15 号
(5) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 福井 文弘 (平成 22 年 4 月 1 日就任予定)	代表取締役社長 三須 尚紀 (平成 22 年 4 月 1 日就任予定)
(6) 資 本 金	50 百万円	50 百万円
(7) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%

(1) 名 称	株式会社名古屋三越	株式会社広島三越
(2) 事 業 内 容	百貨店業	百貨店業
(3) 設 立 年 月 日	平成 21 年 10 月 1 日	平成 21 年 10 月 1 日
(4) 所 在 地	愛知県名古屋市中区栄三丁目 5 番 1 号	広島県広島市中区胡町 5 番 1 号
(5) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 重松 健 (平成 22 年 4 月 1 日就任予定)	代表取締役社長 平川 吉延 (平成 22 年 4 月 1 日就任予定)
(6) 資 本 金	50 百万円	50 百万円
(7) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%

(1) 名 称	株式会社高松三越	株式会社松山三越
(2) 事 業 内 容	百貨店業	百貨店業
(3) 設 立 年 月 日	平成 21 年 10 月 1 日	平成 21 年 10 月 1 日
(4) 所 在 地	香川県高松市内町 7 番 1 号	愛媛県松山市一番町三丁目 1 番地 1
(5) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 辻村 武 (平成 22 年 4 月 1 日就任予定)	代表取締役社長 坂本 康真 (平成 22 年 4 月 1 日就任予定)
(6) 資 本 金	50 百万円	50 百万円
(7) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%

(1) 名 称	株式会社福岡三越
(2) 事 業 内 容	百貨店業
(3) 設 立 年 月 日	平成 21 年 10 月 1 日
(4) 所 在 地	福岡県福岡市中央区天神二丁目 1 番 1 号
(5) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 太田垣 立郎 (平成 22 年 4 月 1 日就任予定)
(6) 資 本 金	50 百万円
(7) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%

(平成 22 年 4 月 1 日現在)

(1) 名 称	株式会社新潟三越伊勢丹 (平成 22 年 4 月 1 日に 株式会社新潟伊勢丹より商号変更)
(2) 事 業 内 容	百貨店業
(3) 設 立 年 月 日	昭和 55 年 2 月 21 日
(4) 所 在 地	新潟市中央区八千代一丁目 6 番 1 号
(5) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 杉浦 進
(6) 資 本 金	100 百万円
(7) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	(株)三越伊勢丹ホールディングス 100%

#### 4. 承継する事業部門の概要

(承継する部門の事業内容)

札幌・仙台・名古屋・新潟・広島・高松・松山・福岡の各地域における百貨店運営事業

#### 5. 吸収分割後の上場会社の状況

吸収分割に伴う弊社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金および決算期の変更はありません。

#### 6. 今後の見通し

本吸収分割による弊社の業績への影響は軽微です。

以 上